

World Student Environmental Network 2018 Global Summit

世界学生環境サミット2018

@京都 同志社大学 2018.8.26～8.30

主催：同志社大学

後援：外務省 環境省 文化庁

京都府 京都市

株式会社 毎日新聞社



趣旨

▶ テーマ

◇ revisit it (再訪する・再考する)

- revisit Doshisha 第1回サミット開催から10年後同志社大学で再び開催する
- revisit Kyoto 京都でのワークショップなどを通じて文化に触れてもらう
- revisit summit 過去のサミットを統括し、次の10年後の環境について考える
- revisit culture 文化の sustainability (持続可能性) を考える

▶ コンセプト

『伝統と文化の sustainability から、地球全体の sustainability を考える』

国や地域で伝承される個性豊かな『文化』は、その土地の『環境』と密接に関係しており、互いに影響を及ぼし合っている。この良い相互作用の循環をより長く維持するにはどうすればよいのだろうか。現代社会では、分野にとらわれない複合的な視点で考えることが求められている。議論の中で、目に見えないが身近な『文化』の持続可能性から、より大きな規模の『環境』の持続可能性について模索することが目標である。

▶ 分科会

◇ 全分科会共通テーマ『文化と自然の共生』

「見えない環境」の持続可能性

環境サミット全体として、3つの分科会（水環境と環境対策、災害対策、科学技術と産業創出）での議論内容を、見えない環境である「伝統と文化」の sustainability (持続可能性) から再考する。また、身近な環境である「暮らし」を見直し、『文化と自然の共生』の方法について総合的に探る。これにより、より大きな環境である地球全体の sustainability (持続可能性) についての考えを発信する。

◇ 分科会『水環境と環境対策』

人類の営みと水環境の関わり

水と私たち人類は切り離せない関係にある。私たちが摂取する飲料水はもちろんのこと、農作物生産やエネルギー創出の分野にわたり、膨大な量の水が日々利用されており、水の安定的な供給とその品質の確保は人類が生き続ける限りこれからも不可欠である。また今回のサミットの舞台である京都の染物や酒に代表されるように、水はその地域の伝統産業と深く根付いており、水と文化の関わりには浅からぬものがある。私たちが直面する様々な水に関する話題を、多様なバックグラウンドを持つ学生たちで sustainability (持続可能性) の観点から議論することで、これからの地球の sustainability (持続可能性) へのヒントにつなげていきたい。

◇ 分科会『災害対策』

防災・減災から見た文化と災害対策の共生

日本は地震をはじめとした世界有数の自然災害大国であり、それらと各人の生活をはじめとする文化の中で「共生」してきた。世界には地震の無い国、特有の自然災害をもつ国などがあり、そうした災害への対応は自国の文化に内包され「共生」している。本分科会では、決して避けることのできない自然災害を「いつか必ず起こるもの」として捉え、それらから各国の文化を守り「共生」していく方法を、防災・減災の考え等をもとに、ショートプレゼンやディスカッションを交えながら考えていく。

◇ 分科会『科学技術と産業創出』

科学技術の光と影

科学技術は、暮らしの向上、輝かしい地球未来のために創出された。しかし、科学技術が発展した先に見える未来は、本当に輝いているのだろうか？ 高度な科学技術が生活へ密に入り込むと、自然や文化に良い影響も悪い影響も与える。文化的な生活には科学技術が必須な一方で、その背景には環境破壊や文化消失の問題が潜む。これらを取り上げ、人間による科学技術利用の限界について考えることは必要不可欠である。あらゆる分野において科学技術が急速に発展する今だからこそ、その光と影に向き合い、今後の科学技術の在り方や利用法、社会や産業との関わりについて議論し、地球の豊かで安全な未来の実現につながる鍵を見つけたい。同時に学生の視点から、科学技術を利用した産業創出の発案に挑んでいく。

5日間のタイムスケジュール

8月26日(日)	<p>13:00～14:30 開会式(明德館1番教室)</p> <p>13:00～13:10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開式の辞 ・開会宣言 学生代表: 釣巻 洋子 ・学長挨拶 同志社大学学長: 松岡 敬 <p>13:10～13:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長挨拶 京都市長: 門川 大作 様 <p>13:30～14:25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 元国連大使: 吉川 元偉 様 <p>14:25～14:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉式の辞
8月27日(月)	分科会
8月28日(火)	分科会及び全体会
8月29日(水)	実地調査
8月30日(木)	<p>11:00～12:00 閉会式(寒梅館ハーディーホール)</p> <p>11:00～11:10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開式の辞 ・学生代表挨拶 学生代表: 上野 洋 <p>11:10～11:20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学長挨拶 同志社大学学長: 松岡 敬 <p>11:20～11:45</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来賓紹介 ・来賓挨拶 環境省総合環境政策統括官: 中井 徳太郎 様 ・ビデオメッセージ 東京工業大学名誉教授: 大隅 良典 様 <p>11:45～11:55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見書宣言 <p>11:55～12:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉式の辞 <p>12:00～ 全体集合写真撮影(任意参加)</p>

概要 ～これまでのサミット～

第1回	2008年	同志社大学	日本: 京都
第2回	2009年	ビクトリア大学	カナダ: ビクトリア
第3回	2010年	チュービンゲン大学	ドイツ: テュービンゲン
第4回	2011年	ブレーキング工科大学	スウェーデン: カールスクローナ
第5回	2012年	ローザンヌ大学	スイス: ローザンヌ
第6回	2013年	ロイファナ大学	ドイツ: リューネブルク
第7回	2014年	ステレンボッシュ大学	南アフリカ: ステレンボッシュ
第8回	2015年	マードック大学	オーストラリア: パース
第9回	2016年	キール大学 サセックス大学	イギリス: キール イギリス: ブライトン
第10回	2018年	同志社大学	日本: 京都

協賛・協力



公益財団法人 平和堂財団



支援



This program is supported by a subsidy from Kyoto City and the Kyoto Convention & Visitors Bureau.

後援



同志社東京校友会有志の方々
同志社校友会 播島 幹長 様

アクセス



アクセス:市営地下鉄「今出川」駅下車
2番出口より北へ約2分
* 駐車場・駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

同志社大学 寒梅館 ハーディホール：地図

問い合わせ先

CONTACT : Student Committee of WSEN 2018 Global Summit

E-mail : wsen2018@mail.doshisha.ac.jp

Website : <http://wsen2018-doshisha.jimdo.com>

サミットの詳細は上記 Website に PDF 版 (英語) を掲載しております
ので、そちらもご覧ください。